

平成23年7月
長官官房総務課

第22回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成23年6月22日（水）午後1時00分から午後2時25分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

委員

前田 雅英	首都大学東京法科大学院教授（座長）
妹尾 堅一郎	東京大学特任教授
櫻井 敬子	学習院大学法学部法学科教授

警察庁

米田 壯	官房長
坂口 正芳	総括審議官
栗生 俊一	政策評価審議官
田中 法昌	官房審議官（生活安全局）
神山 憲一	官房審議官（刑事局）
佐々木 真郎	官房審議官（交通局）
鎌田 聡	官房審議官（警備局）
水本 善文	技術審議官
山下 史雄	総務課長
樋口 真人	情報通信企画課長
桐原 弘毅	総務課情報公開・個人情報保護室長
大橋 亘	科学警察研究所総務部長（オブザーバー）

4 議題

(1) 議題

平成22年度実績評価書（案）

目標管理型の政策評価の改善方策に係る試行的取組の実施について

(2) 報告事項

規制の事前評価書の作成・公表について

平成22年度政策評価実施結果報告書（案）について

5 議事要旨

- (1) 「平成22年度実績評価書（案）」について、情報公開・個人情報保護室長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。

研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

個々の業績指標の達成度と業績目標全体の評価との関係（評価基準）を、計画の段階から明確にすべきではないか。

組織犯罪対策の評価で「目標の達成が十分とは言い難い」が多いが、報道等によると山口組・弘道会対策等をよくやっている印象が強い。

- (2) 「目標管理型の政策評価の改善方策に係る試行的取組の実施について」について、総務課長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。

研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

国の政策で必要なことをやるのにエネルギーを使うのは良いが、なるべく無駄を省いていただきたい。

個別の案件であれば、うまく当てはまるのもあるのではないか。

大変ですねとしか言いようがない。やるのであれば、こちら側に得になるような工夫が必要である。

- (3) 「規制の事前評価書の作成・公表について」及び「平成22年度政策評価実施結果報告書（案）」について、情報公開・個人情報保護室長から報告がなされた。